

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



Vol.53

ヨルダン



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」！
案内役は、国際交流員のアダム・ラビエールさんとジェニファー・ステイントンさんです。

Hello! ジェニファーです。今回は面積が日本の約4分の1の中東の国、ヨルダン（正式名ヨルダン・ハシュミット王国）を紹介します。



ヨルダン

は中東の中央に位置する小さい王国で、暑くてほこりっぽい所です。しかし、多くのほかの国の地域と違って、観光がヨルダン経済にとって重要な部分を占めています。遠方からの客をあまり歓迎しない地域のある中心にある砂漠の国ヨルダン、そこにある何が多くの観光客を引き付けるのでしょうか。

この地域には**豊富な古代の歴史**があります。その歴史の象徴として、最も有名で珍しく印象的な所、2000年前の都市ペトラは、巨大な岩石で隠されていて外側からまったく見えません。砂漠を横切って旅をし

渓谷の奥に隠れた入り口へ進むとペトラへたどり着きます。観光客としてあなたは岩の間の狭い廊下に沿って進むと、ついに秘密の都市ペトラの素晴らしい姿が現れ始めます。意外な場所にそびえ立つ美しい都市を見るとあなたは息を呑むに違いありません。ペトラを訪れるのに1日の中で最もいい時間は夜明け前だといわれています。その時間帯は比較的人も少なく、それよりもいいことに、あなたは古代の宝物殿の超現実主義的に美しい正面を濃いバラ色に染める最初の日の光を見ることができます。それから宝物殿、劇場、修道院やいまだに残っている多くのほかの建物をゆっくり歩き回って見ることができます。



湖面が**海面下420メートル**と世界の陸地のなかでもっとも低い場所にあたる死海もヨルダンに接しています。死海の塩分濃度は海水の約10倍くらいあり、そこには魚も植物も生息することができません、そのことが名前の由来となっています。人々は波の上に浮かぶという不思議な感覚を体験するためにこの広い塩



湖に殺到します。死海の自然の浮力は大きく、人が沈むことは不可能に近いです。水泳に挑戦することもお勧めできません。なぜならばその水は塩分を多く含んでいるので、わず

かな量でも目にはいるとかなりの痛みを伴います。実際湖上の塩分を含んだ風でも目をチクチクと痛めます。何日か経っても（シャワーを何度も浴びても）、髪や肌にまだ塩が残っているのを感じます。栄養豊富な泥、酸素豊富な空気、そして肌のトラブルを解消する塩分豊富な水がある死海は、保養地としてとても人気のある場所になってきました。

もちろん**自然や古代の宝物**だけがヨルダ

ンの魅力を造り出しているわけではありません。比較的安いで安定した、客を歓迎する文化を持った国でもあります。活気あるアラビアの雰囲気と料理そして温かい陽気な気候も含めて、わたしたちをこの魅惑の国へ誘い込むのに十分な魅力を持っています。

